

2023年7月1日  
第565号  
(毎月1日発行)

咲いたネット  
URL：  
http://www.saitanet.or.jp  
Eメール：  
saita@saitanet.or.jp



発行所  
埼玉県労働組合連合会  
〒330-0063  
埼玉県さいたま市浦和区高砂  
3-10-11 第一木村ビル  
TEL 048-838-0771  
FAX 048-838-0775  
編集発行人  
埼玉県労働組合連合会  
【定価】1部50円  
(組合員の購読料は組合費に含む)

北浦和公園に5500人



6月4日(日)に、12回目となる「オール埼玉総行動大集会」が、北浦和公園で開催され、全県から5500人が参加しました。  
主催者あいさつでは、小出実行委員長が「埼玉から戦争絶対反対の声を上げよう」と力強くあいさつし、ゲストスピーカーの小林節さんが「自民党の改憲案のひどさを訴え、野党はまとまって岸田政権に対抗してほしい」と訴えました。  
後援団体のあいさつでは埼玉弁護士会

北浦和公園に5500人が参加！  
オール埼玉総行動大集会開催

と埼玉連(宍戸事務局長)があいさつ、連合埼玉からは連帯のメッセージが寄せられ、紹介されました。  
政党からは立憲民主党、日本共産党、社民党、れいわ新選組、新社会党の代表がスピーチし、「立憲主義を守ろう」と訴えました。今回は北浦和公園の会場を中心に開催を呼びかけ、「久しぶりに大勢参加の集會に出て勇気が出た」と感想が寄せられています。  
集會後は、浦和駅東口までパレードを実施しました。



ゲストスピーカーの小林節さん

1377人が参加しています。  
なお、地域で開催した12区地域連絡会集會に230人、10区地域連絡会集會に



浦和駅までパレード



各政党の代表

\* 紙面から \*

- 6.4 オール埼玉総行動 (1面)
- サマーセミナー (2面)
- 大野知事と懇談 (4面)
- 最賃宣伝 (5面)
- 全国非正規集會 (6面)
- 埼労共のページ (8面)

# 大軍拡ではなく、やさしく強い経済へ 埼労連サマーセミナー開催

埼労連第32回サマーセミナーが6月17日(土)午後1時30分から、さいたま共済会館6階ホールで開催され、13単産・16地域組織から93人(埼労連事務局含む)が参加しました。

歴史的に幹部学校と位置付けて開催してきたサマーセミナーは、単産・地域組織の役員や次代の担い手に参加してもらい、幹部学習をしてきました。

今回は、「大軍拡・戦争の道にストップをかけ、くらしと日本経



久しぶりの現地開催



講演する大門さん

済を立て直そう——いまこそ、『やさしく強い経済』へ」を演題に、前参議院議員の大門実紀史さんを講師に招き、学習会を行いました。

大門さんは、「岸田政権がめざす軍事大国化の背景と危険性」、「戦争の道をくいとめて、平和な日本を」、「物価高騰、長期停滞の日本経済、その原因は何か?どうすればくらしと経済を立て直せるのか?いまこそ『やさしく強い経済』へ」について、資料を使って話しました。講演後は日本経済の現状に関わる質問も出て、大門さんが丁寧に解説しました。学習に続いて、宍戸事務局長がサマーセミナーに対する報告を行い、その後の討論で、労働組合連



JMITU・泉田さん



埼教組・林さん



埼玉土建・佐藤さん

動における学習教育活動の重要性について、JMITU、埼教組、埼玉土建から、それぞれ経験報告がありました。最後に、北村副議長(教育推進委員長)がまとめと閉会あいさつを行い終了しました。

## 2年ぶりに商工会議所と懇談 (深谷寄居地労連)

深谷寄居地労連は、5月26日(金)の午前10時から深谷商工会議所と懇談を行いました。

今回は2年ぶりの懇談で、深谷寄居地労連から今井議長、須藤事務局長、埼労連から加藤幹事が出席し、前回のコロナ禍からの市内事業者の状況の変化や今年10月から施行されるインボイス制度、最低賃金の引き上げと、地域間格差是正のための「全国一律最低賃金制度」について関係する資料の説明をしながら約1時間懇談しました。

最低賃金の引き上げについて、フランスやドイツなどでは年に3回賃金を引き上げた事例などを紹介し、現在の世界的な物価高騰への対策の話をしました。

埼労連・秋の時給調査報告の資料から民間企業の最低賃金を超えた求人額にもふれ、対応してくれた商工会議所の鈴木事務局長は「賃上げについては感触として町場・中小企業は大幅な賃上げが難しい。まだ様子を見ているといっ

た感じがする」と、会員が直面している雇用の難しさ、賃上げに踏み切れない現状を話し、全国一律の最低賃金については、「埼玉県は全国的に最低賃金が高いほうなので影響は少ないと思う」、「社会保険料の負担の軽減策など中小企業支援が必要」と話しました。また、最低賃金の改善のため、中小企業支援の拡充を求める提言も紹介させてもらい、物価高の影響が大きい中小事業者のためにも大企業との取引条件を適正なものとしていく必要があると話し合いました。

その他にも、事業者のコロナ融資の返済が始まってきたことによる相談の状況や、中小企業への補助金の拡充や地域通貨の流通、住宅リフォーム助成制度など自治体にも頑張ってもらいたい話をし、最賃課題だけでなく、様々な課題で地元の経済団体との共同をすすめていくための顔つなぎを深める懇談となりました。

(深谷寄居地労連発)

## つながり活かし、組織化(埼教組)

埼教組では、8人の新しい仲間を迎えました。この間加入した仲間にも共通していることが、複数のつながりです。

Aさんは昨年度、青年部のTwitterスペースで青年部のメンバーと親しくなりました。昨秋に開いた教員採用試験合格祝いバーベキュー交流会にも参加しました。職場の組合員へのあこがれもあり、新採用になったことを期に加入を決意しました。今年度は職場(単組)が変わりましたが、異動先の単組で歓迎会に参加し、新しいつながりのなかで活動しています。青年部の大会にも参加し積極的に発言していました。

Bさんは、これまでも単組の学習会に参加してくれていた方でした。その縁で、単組定期大会にも参加し、そこで組合の方針に共感してくれました。そして、ついに先日加入を決意しました。

Cさんは、特別支援学校からの異動でした。昨年度まで埼高教の組合員でしたが、埼教組に加入するかどうかが検討していました。異



埼教組青年部の仲間たち

動先の単組で歓迎会に誘い話をするなかで、加入を決意しました。1人分会が多くなってきたからこそ、さまざまな場で組合の良さを感じられることが大事です。埼教組では、6月5日から1週間を「つながるウィーク」としています。つながりを大切にして、組合を強く大きくしていきます。

(埼教組発)

## くみあいCafeを開催(埼高教)

埼高教は5月28日(日)午前10時から「くみあいCafe」を開催しました。

新年度が始まって超多忙な2ヶ月が経ち、そろそろ疲れが限界に達してきた頃ではないか、そして1人で悩んでいるのではないか、そんな青年教師を「一人じゃないよ!」と励まし、ホッと一息つく場として企画されたものです。この日は、初任者を含め12人が参加し、授業のこと、生徒のこと、初任者研修のこと、趣味や好きな食べ物などについて語り合いました。

参加した初任者から「ICT教育をどんどん進めていこうという学校で、日々の授業づくりがきつ」とか、「教科書のない科目の授業を担当させられて、毎回の教材研究がづらい」などといった声が聞かれ、ICT教育の流れや、新任者に対する無理強いが行われている現場の実態が語られました。

また、「主権者教育を行ってきたい自分が主権者として活動してないな」と思い組合に加入した。今年度は「見える組合活動」を目標に、組合主催の職場研修会を行った。

(埼高教発)

## 頼高蕨市長が来所

5月28日投票票で行われた蕨市長選挙で、埼労連が蕨地区労協の支援要請をうけ支援を決定していた頼高英雄氏が5期目の当選を果たしました。

頼高英雄市長が、6月13日に埼労連事務所に来訪し、市長選挙への支援のお礼とともに、5期目のスタートの報告と、「日本一のお

ったか市政」の継続・さらなる発展と、国の悪政の防波堤となり奮闘する決意が語られました。埼労連として、コロナ対策、学校給食費の無償化など、市民を守るために様々なとりくみをしてきた頼高市長の引き続きの活躍に期待し、しっかりと見守っていきま



5期目となる頼高市長

い」との声も。初任の青年教師は「青年海外協力隊としてカンボジアへ行ったときメール語が覚えられなくて、生徒の気持ちがよく分かるようになった」と話してくれました。そして別の初任者からは「リモートで行われる初任者研修は寝っ転がって受けています。そうして『リフレッシュ』して、多忙な教育活動に励んでいます」など、個性豊かで頼もしい青年教師たちの話を聞くことができ、このようなたたかな青年教師がいることに、まだまだ埼玉の教育は明るいと、主催した側が希望と元気をもらうことができました。

# 国政・県政について知事と懇談

埼玉連は5月30日(火)午前10時から県庁内・知事室で大野元裕県知事と懇談をしました。

埼玉連から、新島議長、占部副議長(コープネットグループ労組委員長)、西口副議長(自治労連



知事に仲間の状況をうったえ要請

埼玉県本部委員長)、宍戸事務局長が参加しました。この懇談は、埼玉連がこの間、申し入れてきたことから行われたものです。

新島議長から、これまでの大野知事の県政運営に理解を示しつつ

も、岸田政権がすすめる大軍拡大増税計画にたいする組合員の不安の声があること、岸田政権のいいなりではなく、しっかりと意見を言い、県民の暮らし、命を守る県政を貫くことを要請。

大野知事からは、「戦争はダメ。



知事室にて

外交努力こそ必要だ。この立場で臨む」ことが返答されました。

占部副議長から最賃課題で、都道府県格差の問題と1500円こそ必要だという埼玉連の生計費調査が紹介され、特に、県内の会計年度任用職員や委託労働者が最賃に張り付いていることの改善から全体の底上げを求めると、西口副議長から、県職員を増やしてきた実績を評価しつつも、引き続き、今の地方自治体職員の超過勤務とメンタルヘルス疾患増加の実態から職員増員を要請し、あわせて、最賃格差と同様、地域手当の矛盾を解消しないといけない実態が語られました。

## 市と要求にもとづく懇談会

### 狭山地区労

狭山地区労も加盟する市民要求実現狭山地域総行動実行委員会は2月に市に提出した23春闘期の要書にもとづいた懇談会を、5月18日(木)に、中央公民館で行いました。

当日は実行委員会から22人が出席し、懇談時間も今年は2時間に延長され、活発な話し合いが行われました。要求内容が多岐にわたるので、あらかじめ懇談内容を絞り込み、会計年度任用職員、公共工事で働く現場労働者の賃金実態把握、給食費の無料化、補聴器の公的補助、戦争展での狭山市役所ホール使用、などを重点的に話し合いました。

特に、狭山市の会計年度任用職員(非正規労働者)の任用問題では、昨年、長年勤務した職員が雇い止めにあつたこともあり、自治労連県本部の書記長も参加し、重点的に取り上げました。市側も任用の在り方の改善の必要を認め、今後狭山市職員組合と協議していくことになり、5月29日には、

労組と市民団体による「図書館の充実と支所の雇用を守る会」が結成され、この問題を支援することになりました。

公立学校のトイレに生理用品を設置する要求では、懇談会で「検討していく」回答があり、その後市内中学校で試行が始まったとの情報もあります。18歳までの医療費無料化が10月実施されることも懇談会の成果です。

狭山地区労は、6月25日には4年ぶりに平和バスツアーを実施する予定で、桶川飛行場などをめぐります。



狭山市と懇談

# 5月も各地域で最賃宣伝

## 県の宣伝(6月)

埼労連は6月16日(金)昼12時30分から午後1時15分まで、浦和駅東口で最賃・労働法制宣伝をおこない、3単産から10人が参加しました。

埼労連から新島議長、最賃・公契約適正化委員会委員長の小澤副議長(埼高教委員長)をはじめ、各組合の役員などが、順に訴え、新島議長は「今年の最賃の引き上げに関する審議会が始まります。物価があがるもとで、現在の最賃額987円では生活できない。時給は1500円必要であり、同時



今日は昼間の宣伝

に国からの中小企業支援を厚くすること、全国一律の最低賃金の法制化が必要」と話しました。

買い物に向かっていた2人組の女性はチラシとティッシュを受け取り、「うちも中小企業なの。賃金上げるために企業への支援を求めることは大切ですよ」と署名をしました。暑い中でしたが、訴えを聞いて署名を上げる机まで来てくれる人もおり、45分の宣伝で9筆が集まりました。

## 草加八潮地区労

草加八潮地区労は5月18日(木)午後5時30分から草加駅前、最賃引き上げ・全国一律最賃制度確立を求める宣伝を行い、5団体7人が参加しました。

宣伝と合わせて、埼労連が取り組む、埼玉労働局宛ての最賃時給1500円を求める署名にも取り組みました。

また5月27日(土)は、地区労など市内の団体で構成する実行委員会が主催し、草加市も後援する「なんでも相談会」が行われるこ



草加駅にて

とから、「5月27日は、ぜひ相談に来てください」と相談会のチラシも200枚配布しました。

その場で、生活相談の申し込みをする女性や、地区労事務所に電話で「参加したい」という連絡も来ています。生活保護、労災、不登校、相続問題など様々な相談が届いています。

当日は、「フードバンク埼玉」の協力も得て、フードパントリーも合わせて実施します。

## 鴻北労連

鴻北労連は5月19日(金)の夕方、北本駅前以最賃大幅上げ、労働条件改善の宣伝行動を行いました。当日は雨の降るなかでの宣

伝行動となりましたが、14人が参加しました。

宣伝では、物価の高騰に見合う賃上げが必要であり、中小企業で働く人、個人企業主や医療、介護、教育、保育、福祉などのケア労働者、自治体労働者など、すべての労働者の賃上げが急務であると訴えました。

また、「全国一律最賃制度をつくり、最賃時給は1500円に」、「建築職人の処遇改善で地域を守る」、「労働問題でお困りときは埼労連、鴻北労連に相談を」と呼びかけました。

## 飯能日高地労連

飯能日高地労連では毎回、幹事会前に、飯能駅北口で夕方6時から最賃宣伝に取り組んでいます。

5月24日(水)にも、幹事会前に3人の参加で「最低賃金1500円」を訴えて宣伝をしました。

その後、午後7時から埼玉土建飯能日高支部事務所幹事会を開催、7人が参加しました。取り組み報告では、メーデー前夜祭に75人、メーデー当日には平日にも関わらず150人の仲間が参加した

こと、埼労連西部地区協議会の次世代キックオフ行事のハイキング&バーベキューの取り組みなどを報告しました。

今後の取り組みについては、大会方針に掲げてもある次世代対策部設置に向けて次の一手として、8月11日に青梅御岳渓谷でラフティング&バーベキューを20人の参加目標で企画することを確認しました。

この厚文行事を通じて仲間の交流をさらに深め、次のステップとして秋の「わくわく講座」の参加につなげる流れを展望し、次世代の結集に向けて、幹事会として改めて確認しました。



飯能駅にて

# 神奈川で非正規集会を開催

## 全労連非正規センター

6月3日(土)から4日(日)、「第31回パート・派遣など非正規ではたらくなかまの全国交流集会in神奈川」が、全労連の非正規センターの主催で神奈川県・横浜市で行われました。

引き続きコロナ禍での開催、かつ前日の金曜日から土曜日にかけての台風による影響で、公共交通機関が大幅に乱れる中での開催でしたが、全体集会に遅れながらも、全国各地から280人以上が引き続くコロナ禍での開催、かつ前日の金曜日から土曜日にかけての台風による影響で、公共交通機関が大幅に乱れる中での開催でしたが、全体集会に遅れながらも、全国各地から280人以上が



全員で最賃音頭

会場に集まり、Youtubeによるオンラインも合わせ700人以上の参加となりました。

オープニング企画は、東京労連の「最賃音頭」を会場参加者全員で振付を学びながら踊り、場の空気が和みました。

全労連非正規センターの基調報告を受け、1日目の記念講演では、ジャーナリストの松元千枝さんを招いて、フリーランスや非正規雇用、外国人労働者など、多様な働き方の当事者とのシンポジウムが行われました。

会計年度任用職員、外国人として非正規雇用で働く人などの厳しい実態が報告され、改めて安心して働ける制度づくりの必要性が強調されました。

通常は行っている全大会終了後のパレードについては、同日に開港祭が行われていた関係で今回は行いませんでした。

2日目は、分科会と基礎講座にわかれて開催されました。

# 加盟組合の法律事務所などを訪問

全労連・全国一般埼玉地本は5月18日(木)、東京地本法律会計特許一般労働組合(法会労)といつしよに、浦和区にある法律事務所約90カ所を訪問しました。法会

所は、法律事務所、会計事務所で働く労働者を組織している労働組合です。

この日は、東京地本法会労から24人、埼玉地本からは6人が参加し、合計30人が11組をつくり訪問しました。持参したのは、法会労紹介チラシ、法律事務所の研修会紹介チラシ、健康診断の医療機関

紹介チラシ、全労連「変える」ピラ第3弾、最賃署名、返信用封筒などで、法律事務所の名簿と地図を持ち出かけました。

ある法律事務所では弁護士が対応し、「自分も組合に入りたい」と話したり、別の事務所では応接室に案内してくれ、労働条件や賃金などの懇談ができました。そのほか、東京の法会労主催の研修会に参加したことがあるとか、民法改正時に法会労の学習会に参加したことがあるなどの話題がでたり、「組合費はいくらですか」な

# 映画「時の行路」上映時間が決まる

埼玉連と埼玉共が映画制作に協力した、いすゞ自動車の派遣切りをモデルに労働者のたたかいを描いた「時の行路」の再上映の上映時間がままりました。

事実上勝利を勝ち取った実話をもとにした感動作を割引価格でご覧いただけます!

日時 10月19日(木)

① 10時30分〜12時40分

② 14時〜16時10分

③ 18時30分〜20時40分

場所 埼玉会館 小ホール

実行委員会での前売り価格1200円のところを、埼玉共専用の

00円のところを、埼玉共専用の



入場整理券を利用することで900円(当日清算)でご覧いただけます。

整理券等に関するお問い合わせは埼玉連・担当山崎まで

048-8388-0771

# 埼玉選出の議員に2回目の要請

県民大運動実行委員会主催の国会行動埼玉デーが5月31日(水)に行われ、埼玉連は最賃・公契約適正化委員会を構成する労組を中心に、全国一律最賃制度への賛同を求め、まだ紹介議員になっていない埼玉県選出の国会議員に要請しました。要請内容は、全労連の「全国一律最賃制確立を求める署名」の紹介議員になってほしいというもので、対象となる21人を訪問しました。

最賃・公契約適正化委員会から、小澤副議長(埼玉高教)、五十嵐全国一般副委員長、加藤幹事



塩川議員の報告

要請では、「先生に伝えます」と丁寧な話を聞いてくれた自民党の議員秘書など、受け取らないといった対応は無く、「継続していけば変化はつくれる」と実感する取り組みとなりました。

会期中ということもあり、不在で資料を渡せなかった議員もいるため、9月からの臨時国会の会期中にもう一度実施することも検討していきます。



最賃署名を提出

(埼玉連)、龍尾職員(埼玉連)と、埼玉デーに参加した埼玉土建から5人が参加してくれ、3班に分かれて訪問しました。

## 「コープネットグループ労組の「お手紙作戦」

コープネットグループ労組は、組織拡大の取り組みとして、ユニオンショップ協定の範囲外(協栄流通のパート社員、全職場のアルバイト、非常勤ヘルパー)で労組未加入の人たちへ、お手紙作戦として、春闘での時給アップの報告と共済互助会(ウエルクラブ)の利用案内も一緒に個人名のシールを貼って渡してきました。

春闘での労働組合の成果をお伝えし、「組合に入って、一緒に活動しませんか」と呼びかけています。なるべく分会の仲間から声をかけて手渡しするように取り組んでいます。

店舗の職場は特にアルバイト(週の契約が12時間未満、学生アルバイト、定年再雇用アルバイト70歳以上)が多いので、店長さんにもお手紙の配布の協力をお願いしています。お手紙の中には「労組説明が必要な場合は、専従が対応いたしますので、恐れ入りますが労組室までご連絡ください」という文章を加え、労働組合を知り身近に感じてもらうようお知らせしています。

このお手紙配布の効果での加入はまだ上がっていませんが、分会会議に「お試し参加」することで労働組合の活動を知ってもらい、加入してくれる仲間が増えるとうれしいです。

この間、全労連主催のコミュニティオーガナイズング「ゆにおんきゃんぷ」に専従が全員参加しました。組織拡大の手法の一つですが、なかなか難しさもあります。

新しい人と出会って、お互いに知り合い、一緒に活動に参加する人を見つけたら、どうやって担い手を広げていけるのか、また請負ではなく当業者として活動に参加する人をどう育てていけるのかなど、課題はたくさんあります。

「ゆにおんきゃんぷ」で学んだことを活かしながら、多くの仲間と一緒に仲間増やしの活動をすすめていきます。

(コープネットグループ労組発)

## 埼玉県労働委員会のご案内

「解雇・雇止め」「労働条件の不利益変更」「パワハラ」「団体交渉拒否」など職場で困ったことはありませんか。

労働委員会は、中立・公正な立場で労使紛争の解決促進のためのあっせんや不当労働行為の審査を

して、労働者・労働組合と使用者(会社等)とのトラブル解決をお手伝いする専門的な行政機関で、各都道府県に設置されています。

個人で社長や上司と自主的に交渉をしても解決が困難なときは、公的第三者機関である埼玉県労働

委員会をご利用ください。  
あっせんは労働組合だけでなく個人でも申請できます。手続きは簡単・無料です。

詳しくは埼玉県労働委員会事務局にお問合せ下さい。

HPは、『埼玉県労働委員会事務局』で検索してください。

☎048-830-6452

# 7月の上映案内

7月の上映は「桜色の風が咲く」です。9歳で失明、18歳で聴力を失いながらも世界ではじめて盲ろう者の大学教授となった福島智の生い立ちを描いた実話です。

一つ一つ困難を乗り越えながら人生の可能性を広げていく母と息子。智を支え、母としてのたくましさを得ていく主人公・令子に12年ぶりに主演を務める小雪さんの圧倒的な存在感で描かれる2022年作品です。

日時 7月18日(火)  
① 10時30分〜12時30分



② 14時〜16時

③ 18時30分〜20時30分

場所 埼玉会館 小ホール

埼玉共専用の入場整理券を利用すると300円割引の900円でご覧いただけます。

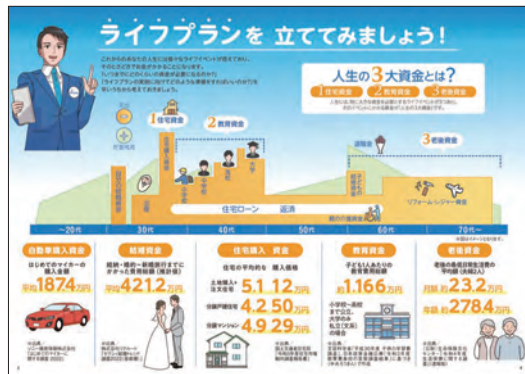
## 第1回

## 福祉共済セミナー

労働組合のメリットである福祉共済を推進するため、5回のセミナーを計画しています。

6月10日(土)の午後に第1回セミナーとして「暮らしに役立つ福祉共済スタートセミナー」を開催し18人が参加しました。

第1回は福祉共済について全体像をつかむ目的で、「埼玉連福祉共済運動の考え方」、「暮らし保障の基礎を考える(こくみん共済coop)」、「労働者のための金融を考える(ろうきん)」として、動画を交えながら、暮らしを取り巻く現状および要求運動の必要性と備えの必要性、活用のメリットなどについて説明しました。参加者からは、「勉強になっ



た。仲間を誘って参加したい」との感想と、テーマとして年金・老後・介護などについての要望が寄せられました。

今後、出された要望も踏まえてテーマごとのセミナーを企画していく予定です。当面、「子育て(教育)」、「住宅」、「退職準備」、「老後」、「シニア」をテーマにセミナーを開催します。

# フードバンク

## 第86・87便

埼玉連6月のフードバンク活動では、埼玉土建から寄せられたアルファ米3箱18・75キロ、備蓄用・缶入りビスケット8箱21・6キロ、合計40・35キロを第86便として6月1日(木)にフードバンク埼玉に届けました。

また、SUからカップ麺、カップスープ、清涼飲料水、瓶詰めママレード、菓子類などが提供され、三郷市労連から玄米米30キロが届き、合わせて33・55キロを第



フードバンク第86便

87便として6月21日(水)にフードバンク埼玉に届けました。

いつものように、玄米はたいへん喜ばれ、2便合計で73・9キログラムの提供となりました。

埼玉連では、引き続きフードバンク活動に取り組んでいきます。各組織でも、機関会議などでの呼びかけをお願いします。



第87便

